

令和3年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	青葉台さくら苑		施設番号	K183
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和3年度)	改善計画 (令和3年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和4年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和4年4月30日時点)
利用者の 機能訓練 について	機能訓練計画は、サービス担当者会議で機能訓練指導員、介護支援専門員、生活相談員、介護職、看護師、管理栄養士がそれぞれ専門的見地から利用者の心身状況を確認し、適切な機能訓練が行われるよう検討し、施設サービス計画の中に盛り込んでいる。自立支援の念頭に生活リハビリの視点で機能訓練が行われているが、職員の自己評価では低い数字となっている。	利用者個々の機能訓練について、まず計画段階では今まで以上にモニタリング、アセスメントを強化して次期計画に反映する。 訓練段階では、フロアー会議で個々の生活リハビリについて認識を共有し、職員による相違をなくす	1 実施済み 2 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 フロアー会議で、利用者個々の個別訓練計画の重要性について改めて説明し、担当の現場職員全員で検討し始めた。 また、生活リハビリの方法の統一を図るべくフロアー会議で意見を出し合った	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
ICT導入による介護の質の変化について	令和3年事業計画では、「遠隔から見守るセンサー・カメラ」の導入と活用が挙げられ、「ICTを駆使することにより利用者の安全、生活の質の向上を図る」とある。他方、センサー・カメラの導入により、スタッフの観察力や洞察力が低下し、後始末のケアになりがちであるとの懸念を指摘する声や、そうした畏にはまった現場もみられる。	「センサー・カメラは活用しても良いが頼ってはいけない」ということを念頭に置いて、その活用方法についてフロアー会議を利用して認識を共有する。 また、「危険感受性」を高めるための研修を実施し、「先回りの介護」に努める。	1 実施済み 2 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 フロアー会議で、第三者評価機関からセンサー・カメラ導入によるデメリットについて指摘を受けたことを説明し、その活用方法について職員で議論した。そして「危険感受性」をためるための「危険予知トレーニング」を実施し始めた。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
更なるケアの質の向上について	事業所は、理事長の卓越した指導力の下、組織全体として経営理念実現のために真摯にぎょうに取り組んでいる。そのため、職員のモラルも高く介護の質も一定水準以上に保たれている。しかし介護業界全体としては人材不足に悩まされ、必ずしも魅力ある職場とは認識されていない。経営再建に発揮された力を、個別ケアの質の向上に活かすとともに、現場職員が地域福祉に貢献するなど、介護分野におけるリーダーの役割を果たすことを期待されている	介護業界が魅力的な職場であることをアピールするため、法人独自の紹介ビデオを作製した。 そして、友好関係にある施設と連携して求人フェアを開催して魅力ある職場であることを積極的にアピールした。 また、職員のモチベーションを高めケアの質の向上を図るため、職員休憩室を一新した。 地域住民のために、大規模災害に備えて非常食を常備した	1 実施済み 2 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 職場の紹介ビデオを作成した。 職員休憩室を一新するとともに、コーヒーや紅茶などの飲料を無料で飲めるようにした。 約50人分、1週間分の非常食を常備した。 ホームページに職員ブログを掲載して介護の魅力を発信している。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和3年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。